

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名： 腰椎変性疾患に対する腰椎固定術の術式別医療コストと術後臨床成績
－ 費用対効果からみた術式選択の妥当性評価 －』

研究機関名： 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者： 整形外科 職位・氏名 臨床教授・和田明人

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は腰椎変性疾患のため手術を受けられた患者様の術後治療成績ならびにそれに要した治療費を調査、分析することことを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、今後の日本において医療費抑制を目的とした費用対効果の高い手術方法を策定することにつながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

収集した試料・情報は他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報：病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、個人情報 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2023年10月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

なし

【試料・情報の取得方法】

対象者：2013年1月～2023年9月までに東邦大学医療センター大森病院
整形外科において、腰椎変性疾患の診断で手術を受けた方
方 法：診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名： 東邦大学医療センター大森病院 整形外科

研究代表者： 和田明人

役職 : 臨床教授

【利用する者の範囲】

共同研究機関：なし

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院

和田明人

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、26年10月31日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 整形外科

職位・氏名 臨床教授・和田明人

電話 03-3762-4151 内線 6635